

算 数	2024 年度入学試験	受験番号	氏 名	評 点
	2月1日 午後 解答用紙			

1	(1) ⑤	(2) ⑤
10	67	$\frac{9}{10}$

2	(1) ⑥	(2) ⑥	(3) ⑥	(4) ⑥	(5) ⑥
53	100 g	分速 48 m	$\frac{2}{5}$	3 通り	5
	(6) ⑥	(7) ⑥	(8) ⑥	(9) ⑤	
	150°	3 cm	1004.8 cm ³	頂点 ク	

3	(1) ⑧	(2) ⑤
13	<p>図や式や考え方 $1500 \times 3 = 4500$ (円)</p> <p>はじめに持っていたお金 $870 \times 10 = 8700$ (円)</p> <p>1ヶ月分のおこづかいを①として線分図を上のかくとおこづかいを1500円ずつ使うと3ヶ月でなくなり、870円ずつ使うと10ヶ月でなくなるので、$10 - 3 = 7$ (ヶ月) 分のおこづかいは $870 \times 10 - 1500 \times 3 = 4200$</p> <p>よって、1ヶ月分のおこづかいは $4200 \div 7 = 600$</p> <p>答. 600円</p>	2700 円

4	(1) ⑥ (片方できて③)	(3) ⑨
24	<p>ア 3320</p> <p>イ 7460</p> <p>(2) ⑨ (片方できて④)</p> <p>ウ 19 円</p> <p>エ 26 円</p>	<p>図や式や考え方</p> <p>120kwhの時点で、A社はB社より $3320 - 3080 = 240$ (円) 電気料が高い</p> <p>120kwhより多く使用するとき、A社とB社は1kwhあたりの使用料金が $26 - 23 = 3$ (円) の差があり、B社の方が金額が高い</p> <p>そのため、1kwh使用するたびにB社の電気料金が3円分A社に近づくことになる</p> <p>よって $240 \div 3 = 80$ (kwh)</p> <p>使用したときにA社とB社の金額が同じになる</p> <p>ただし、これは120kwhより多いときを考えているので、A社とB社の電気料金が同じになるのは、$120 + 80 = 200$ (kwh)</p> <p>答. 200 kwh</p>